

城陽高校図書館だより

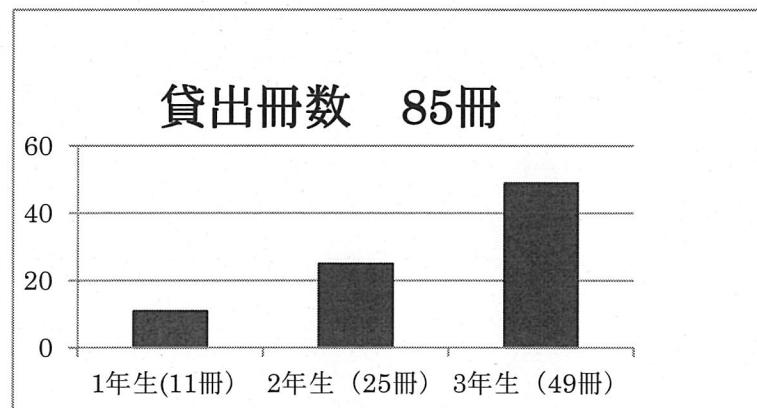
ふみくら

2017-No. 9

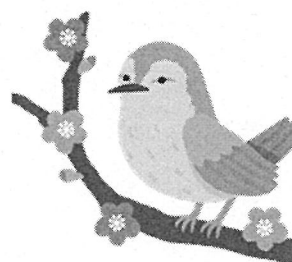
平成30年2月27日
京都府立城陽高等学校
図書館発行



1月の図書館



開館日数 19日
入館者数 344人



☆貸出冊数は昨年度並でしたが、入館者数は減っています。1年生の利用が少ないです。

今回は3年生の**ベストリーダー**を発表します。(2015年4月～2018年1月までの3年間の貸出冊数。)学年全体の3年間の貸出し0冊の割合は62%(昨年度57.5%)でした。

1位	3年5組	YMさん	1,253冊	(昨年度1位170冊)
2位	3年7組	OTさん	161冊	
3位	3年7組	KSさん	99冊	
4位	3年8組	OAさん	56冊	
5位	3年8組	OKさん	53冊	

素晴らしい!

1位のYMさんは1,000冊越えです。過去6年間では455冊が最高でしたから、素晴らしい記録です。2位以下の人もよく読んだのですが、今年度はダントツの1位でした。

本校図書館では、貸出冊数が100冊を超えると、通常の貸出冊数制限(3冊まで)がなくなります。それもあって、どんどん読みすすめました。昼休みに図書館で本を読んでいる表情がとても幸せそうで、「本当に読書が好きなんやなあ、どんな物語の世界に行っているのかな?」と見ているほうもうれしくなりました。右面のYMさんへのQ&Aを読んで、みなさんも読書にはまってください!

裏面は図書担当の先生から卒業生へのメッセージです。



平成29年度ベストリーダーYMさんに聞きました!

Q1. 3年間のトータル貸出冊数1,253冊はここ6年間で最高でした。感想をどうぞ。

ここまで借りるとは思っていなかったので、とてもびっくりです。中学の頃は冊数を数えたりすることはありませんでした。だから、毎月「ふみくら」で冊数を見ることができてうれしかったです。

Q2. 1日1冊くらいのペースになりますが、いつ読書していましたか?

学校の休み時間や登下校の電車の中、それから寝る前や勉強の合間に読んでいました。読書は生活の大半を占めているといっても過言じゃないです。

Q3. 読書が好きになったきっかけは?

幼稚園の頃、すでに絵本を読むことが好きでした。本格的に「本」を読み始めたのは、小学校1年の頃です。初めて読んだのは『かいけつ!ゾロリ』シリーズだったと思います。ほかにも『こまったさん』『わかったさん』などシリーズものを数多く読んでいました。

Q4. ビブリオバトル京都大会・関西大会に出場してみてどうでしたか?

「こんなにも本好きがいるんだ!」とドキドキしました。同時にもっと本を読むことが好きになりました。出場しようと思ったきっかけは学校のビブリオバトルに参加したこと。その時、チャンプ本にはなりませんでした。自分の好きな本を紹介することはとても楽しいと感じました。

Q5. 「文芸同好会(仮称)」について紹介してください。

昨年の2学期から1~3年生の本・アニメ好きが集まって、週に1回図書館で活動しています。活動内容は「物語を書く(オリジナル創作)」「おもしろい本やアニメを語る」です。もうすぐ冊子を作って図書館に置いてもらうので見に来てください。正式な同好会になることを目指しているので、興味のある人はぜひ参加してください。ほとんどの人が他の部活と兼部していて、アニメ好きが多いです。

Q6. 「読書の魅力・城陽高校図書館のおすすめ本・図書館利用のすすめ」をお願いします。

読書の魅力は、時間を忘れるくらいのめりこめることです。私のおすすめは3作品。『ソード・アート・オンライン』『ログ・ホライズン』『ブレイブ・ストーリー』です。どれもアニメになっていて、アニメからでも小説からでも入っていいところが魅力です。『ソード…』『ログ…』はシリーズ本で、『ブレイブ…』は1冊が分厚いですが、内容が濃く、読みごたえがあります。

本を読むこと自体が嫌だという人が多いと思いますが、図書館にはマンガや雑誌もあります。まずは、一度でもいいから足を運んでほしいです。勉強するもよし、まったりするもよし。そして、あなたの好きな本があるかどうか、探してみてください。



梅咲いて庭中に青鯨(あおざめ)が来ている

金子兜太

不退轉

羽孝二

図書担当内本より卒業生の皆さんへ、この言葉を“はなむけ”として贈りたいと思います。

「不退轉」 (ふたいてん)

転んでも退かない。勇猛精進して怠らないこと。 出典「大無量寿經」より

これからの世の中を君たちはどう生きるか 司書教諭 足立孝二

高校を卒業すると、世の中に出て生活していきます。その前に大学や専門学校などで勉強する人もいます。社会の中で、いろんな人との関わりの中で生きていきます。社会のしくみは複雑で、たえず変化しています。世界の中には、戦争やテロ、また飢餓にさらされている人も少なくありません。そのなかで、君たちはどのように生きていくか。自分で見つけていく必要があります。

誰でも一人では生きていけません。わからないとき、迷ったとき、悩んだとき、悲しいとき、嬉しいときには、友だちと、またまわりの人と一緒に共有してください

吉野源三郎が書いた『君たちはどう生きるか』(岩波文庫)という本(この本の漫画本[マガジンハウス刊]もあります)をお薦めします。学校の図書館にあります。

今から八十年も前に書かれた本ですが、今でも心に響きます。八十年前というと、日本は軍国主義のなかで戦争に突き進んでいた時期ですが、現代でも十分通用する内容です。それも驚きです。

図書館には、人生にいかせる様々な言葉、メッセージ、詩などが載った本もいろいろあります。「座右の銘」が見つかるかもしれません。

